

「日韓の歴史問題」をどう伝えるか第2回研究会

異なる歴史を共に考える試み

● 開催趣旨

韓国学研究センターでは、今年度、市民社会や学校教育で「日韓の歴史問題」をどう語り、学んでいくべきかの探究を課題としています。第2回の研究会は、高校の歴史教育に携わると同時に古代地中海史の研究を続けている丸小野壮太先生をお招きします。丸小野先生から、「開かれた古代地中海世界史研究」を素材に、日韓の市民がともに歴史を探究し、伝える活動についての報告を受け、それを受けて参加者もまた、議論、協働作業を試みる予定です。ともすれば、日韓関係史を語る際には、「固定された現在の国境」「一国一民族の歴史」という錯覚を前提としてしまい、「自国史と他国史」、「被害／加害」の要素のみを意識しがちであるかもしれません。今回は、そこから少し離れた素材をもとに、新たな可能性やヒントを探ることを狙いとしています。

● 講師：丸小野壮太（常磐大学高等学校教員）

報告：「市民協働型のワークショップから考える日韓歴史対話—開かれた古代地中海世界史研究を手がかりに」

コーディネーター：竹田和夫（新潟大学講師、高校教員）

● 日時：2025年9月27日（土）14:00～16:30

会場：東京大学駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム1（要・事前登録）

● 言語：日本語（通訳なし）

● 参加費無料、ただし9月25日（木）までに事前登録が必要です。下記のウェブフォームまたはメールでの登録をお願いいたします。対面参加については40名までとなります。

終了後に懇親会（軽食・お茶などの飲料を準備）を予定しています。

オンライン参加登録者には開催日までに、事務局よりメールで当日のURLをお知らせします。



・事前参加登録はこちらから→<https://forms.gle/xd7wmsqjsfq7HYez5>

・お問い合わせ cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp（東京大学韓国学研究センター事務局）

主催：東京大学韓国学研究センター

後援：韓国国際交流財団